

PCA 会計シリーズ

Ver.1.0 Rev.6.12プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

202401

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇インボイス対応機能強化

- 。「取引先別税区分別集計表」の「情報公表サイトと税区分の一致を確認する」を選択した場合、適格請求書発行事業者として無効な期間（「登録なし」の内訳行）で課税仕入10%（Q5）などが使われていたらアラートを出すように変更しました。
- 。「補助科目の登録」において「法人情報の変更」確認ダイアログの変更により、法人格の省略や半角変換ができるようになりました。また、法人番号を元に公表サイトの事業者情報を検索し、事業者登録番号、事業者区分を設定できるようになりました。

◇機能強化

- 。「会社基本情報の登録」において伝票番号管理が「自動付番」、重複伝票番号が「許可しない」で運用する際、伝票番号が重複した場合に自動調整して登録できるよう変更しました。
- 。各伝票の「伝票拡張項目」の入力時にURLを入力している場合、「ctrl+クリック」でリンク先を開けるように変更しました。
- 。「クイック仕訳転送」において「仕訳登録履歴」が存在しない場合、類似する「入力済みのデータ」（仕訳を入力したが未転送のデータ）から仕訳を作成できるよう変更しました。
- 。「クイック取引受入」「クイック仕訳転送」において、「証憑プレビュー」ダイアログを常に最前面で表示するかどうか選べるようにしました。
- 。「FR形式XBRL出力」のファイル出力の際、利用可能文字のチェックを行うように変更しました。
- 。「法人税連動データの作成」において出力フォーマットを変更しました。
- 。「データコンバート」において、一般ユーザーの「領域責任者」が「バックアップデータからコンバート」を実行できるようになりました。

◇連携アカウントによるシングルサインオン（SSO）対応

- 。Microsoft Entra ID（旧Azure AD）を利用したログオン認証に対応しました。

※ 独自認証でのみ利用可能です。

◇自動アップデートの通知形式の追加

- 。「システムツール」－「管理者アップデートの通知形式」を追加し、新しくバッジ通知形式を選べるようにしました。

◇汎用データレイアウトの変更

- 。取引先別税区分別集計表

互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について データ領域のバージョンを「7.30」に更新しました。

以下のテーブルを追加しました。

- 。処理別設定

◇APIの変更について

- 。eDOC連動で「FindByCondition(詳細な条件指定による検索)」に対応しました。
- 。仕訳伝票の「Create(作成)」「Modify(修正)」のURIパラメータに「AutoSetBuCommonMaster(部門共通マスター自動設定)」を追加しました。

◇汎用データの変更について 以下の汎用データレイアウトを修正しました。

- 。取引先別税区分別集計表